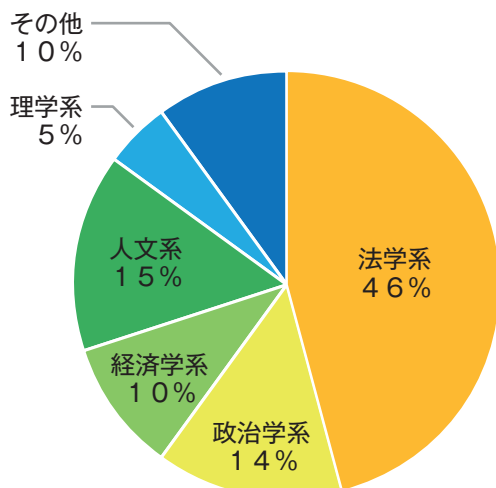


若手職員のリアルな声

入局1年目から3年目までの若手職員にアンケートを実施しました。
入局して実感した本音を含めたフレッシュな声をお届けします！

修了した学問系統（大卒程度）



衆議院事務局を志望した理由は？

- ・国会という日本の中心で、歴史がつくられていくその瞬間を肌で感じながら仕事ができる場所であるから。
- ・多様な部署があり、異動によって全く異なる様々な官庁の政策に関わる機会があるためです。
- ・業務説明会での先輩職員の方々が優しく朗らかで、職場の雰囲気がとても良さそうだったから。



【令和5年度新任研修の議長公邸見学に於いて】

入局前後でイメージの変化はあった？

- ・入局前は、休みがあまりとれないのではないかと考えていたが、入局後、積極的に休みがとれ、先輩方も育休などを取得されていてワークライフバランスの良い職場だと感じた。
- ・立法に関する知識が無かったため、不安だったが、仕事を進める中で必要な知識は自然と身につく。
- ・堅苦しい雰囲気の職場だと思っていたが、意外とフランクで優しい方が多かった。
- ・思ったよりも1年目から責任ある大きい仕事に関わることができる。

業務説明会へのご参加もお待ちしております！

就職先に衆議院事務局を選んでよかったこと

- ・自分が関わった法律案の審議等の報道を見ることで、重要な仕事に携わっていると実感できる場所。
- ・年齢・試験区分問わず、様々な仕事の機会に恵まれている。
- ・幅広い業務内容で、得意分野を発揮できる部署を見つけやすいこと。
- ・日本の中心部で、政治の最前線に携わることができ、やりがい大きい。

今後行ってみたい部署は？

- ・秘書課：国会議員のサポートが直接感じられてやりがいがありそう。
- ・議事課：国会議員が一同に集う本会議の運営に携わってみたいからです。
- ・委員部：国会職員として一度は国会の運営に直接携わるような職務を経験したい。
- ・記録部：国会での議論を、後世に伝わる「会議録」という形で正確に残す記録部の業務に関心を持っています。
- ・会計課：会計課の仕事は事務局を大きく支えていて様々な課室と関わることができるので興味があります。
- ・調査局：論文を書くことが好きなので、調査局に行きたい。好きなことを活かして職場に貢献したい。

衆議院事務局の好きなところ、オススメポイント

- ・分館で食べられるカレーは絶品！入局したら是非食べてみてほしいです。
- ・語学研修や海外大学院派遣研修など、職員のスキルアップのための制度が充実しているところ。
- ・国会議事堂で働ける場所。歴史ある本館内を歩くとわくわくしますし、気も引き締まります。